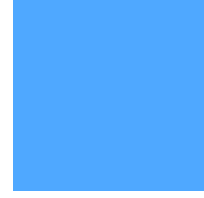
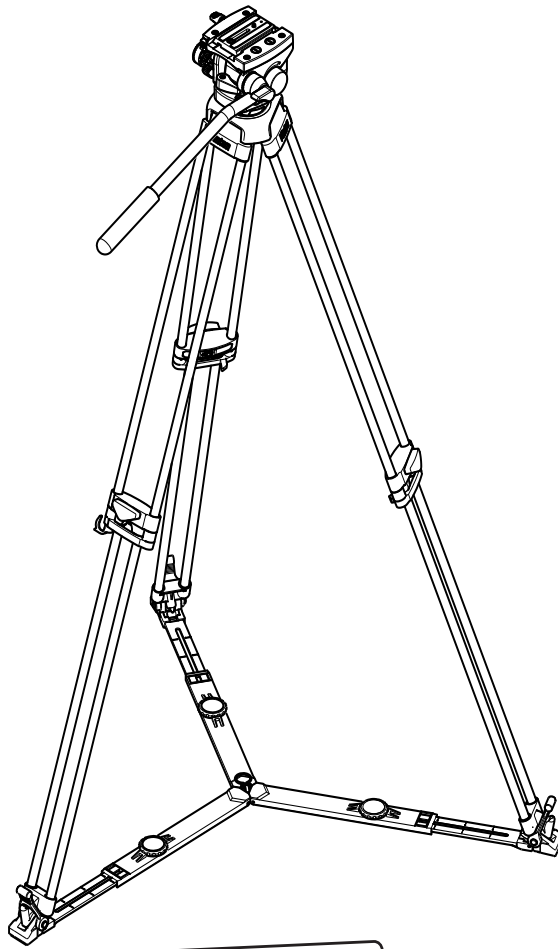


操作ガイド

protouch



PRO-5^{Plus} System



Vinten
Camera Control Solutions

protouch

PRO-5^{Plus} System

Publication Part No. V4057-4980-JP
Issue 1

Original Instructions

Copyright © The Vitec Group plc 2009

All rights reserved throughout the world. No part of this document may be stored in a retrieval system, transmitted, copied or reproduced in any way including, but not limited to, photocopy, photograph, magnetic or other record without the prior agreement and permission in writing from the Vitec Group plc.

Vinten® is a registered trademark of The Vitec Group plc.



Back

はじめに

ヴィンテン社の新しい Protouch PRO-5^{plus} システムをお買い上げいただき、ありがとうございます

新しい PRO-5^{plus} システムを最大限に活用していただくためにも、この取扱説明書をお読みにになり、新機能を含む多彩な機能をご利用ください。この説明書には、健康および安全に関する重要な情報、ならびにこの新製品を完全な状態に保つための保守に関する項目が記載されています。

ヴィンテンのホームページ www.vinten.com/register でユーザー登録をしていただくと、さまざまなメリットがあります（24の[保証の詳細および契約の条件](#)を参照）。

新しい PRO-5^{plus} システムの機能と特長

PRO-5^{plus} システムは、最新世代の小型デジタルビデオカメラや DSLR を使ったあらゆるタイプのビデオカメラ撮影に最適です。

- 曾 重心位置 55mm で 0 ~ 4.5kg (9.9 ポンド)
- 曾 2 段（ゼロおよび 1）ばねカウンターバランスシステムによる積極的なカメラのコントロール
- 曾 上部に「サイドローディング」クイックリリーススライドプレートを搭載。最新世代のデジタルビデオカメラや DSLR を搭載可能な 1/4 インチ、3/8 インチのカメラ用ねじと位置決めピン付き。
- 曾 75mm 一体化ボールベースで安定したレベリングを実現。
- 曾 90° 回転式のオンオフ機能で使いやすい Pozi-Loc 三脚クランプシステム。三脚の固定状態の確認が容易。
- 曾 アルミニウム製 1 段 Pozi-Loc 三脚で優れたねじり剛性を実現。延長可能で組み立てや持ち運びが簡単。
- 曾 Protouch ブランドの Petrol システムケース。

PRO-5^{plus} システムをお買い上げいただき、重ねてお礼申し上げます。

本製品を末永くご愛用ください。



Back

安全のために – 最初にお読みください

本取扱説明書の警告表示について



使用時に人的傷害の危険性がある場合については、「警告」の文字と警告を示す三角形の記号と共に説明文を表示しています。

本製品、関連機器、操作工程または周辺への損傷の危険性がある場合については、警告の文字と説明文が表示されます。

用途

Pro-5^{plus} システムはイベントなどのビデオカメラ撮影や企業向けに設計されており、最大 4.5 kg (9.9 ポンド) までのカメラや付属機器を支持して均衡をとることが可能です。Pro-5^{plus} システムはプロカメラマン仕様の製品です。



警告！

1. 操作方法のわからない方は使用しないでください。
2. 上記「用途」以外の目的には一切使用しないでください。
3. 本取扱説明書の記載範囲外の保守については、保守マニュアルに指定された手順に従って、適格な担当者が行う必要があります。

詳細情報

保守およびスペアパーツの詳細については、『Protouch PRO-5^{plus} System – Maintenance Manual and Illustrated Parts List (Publication Part No. V4057-4990)』を参照してください。この文書は、ヴィンテンまたはお近くのヴィンテン代理店をご用意しています。オンライン情報については弊社の Web サイトをご参照ください。

www.vinten.com.



Back

技術仕様

PRO-5^{plus} パン・チルトヘッド

重量	
ボウルクランプ付きヘッド	1.65 kg (3.63 ポンド)
パンバー	0.2 kg (0.44 ポンド)
マウント面までの高さ	11.2 cm (4.4 インチ)
長さ	12.1 cm (4.8 インチ)
幅	15.3 cm (6.0 インチ)
搭載荷重 (重心位置 55 mm)	4.5 kg (9.9 ポンド)
カウンターバランス	オン / オフ
チルト範囲	+90° ~ -60°
パン範囲	360°
三脚の固定	75 mm ボール
作動温度	-10° C ~ 60° C

Pozi-Loc 三脚

レベリングボウル直径	75 mm
フロアスプレッダを取り付けた状態での最大高さ	156.2 cm (61.5 インチ)
フロアスプレッダを取り付けた状態での最小高さ	41.6 cm (16.4 インチ)
重量	3.2 kg (7.0 ポンド)
移動時の長さ	71 cm (28.0 インチ)
推奨最大搭載荷重	25 kg (55 ポンド)

フロアスプレッダ

最大脚半径	77 cm (22.5 インチ)
最小脚半径	38 cm (15 インチ)
重量	0.7 kg (1.5 ポンド)



Back

目次

	Page
はじめに	3
安全のために - 最初にお読みください	4
技術仕様	5
用途	4
詳細情報	4
はじめに	
PRO-5plus パン・チルトヘッド	11
Pози-Loc 三脚	12
三脚スプレッド	12
操作	
カメラのマウント	14
カメラバランスの点検	15
パンブレーキとチルトブレーキ	17
パンとチルトのドラッグ	17
オプション機器	
キャリングストラップ	18
ドリー	18
メンテナンス	
概要	20
クリーニング	20
日常の保守	20
調整	21
パーツリスト	23
保証の詳細および契約の条件	24

関連書籍

Protouch PRO-5^{plus} System - Maintenance Manual
Publication Part No. V4057-4990



Back

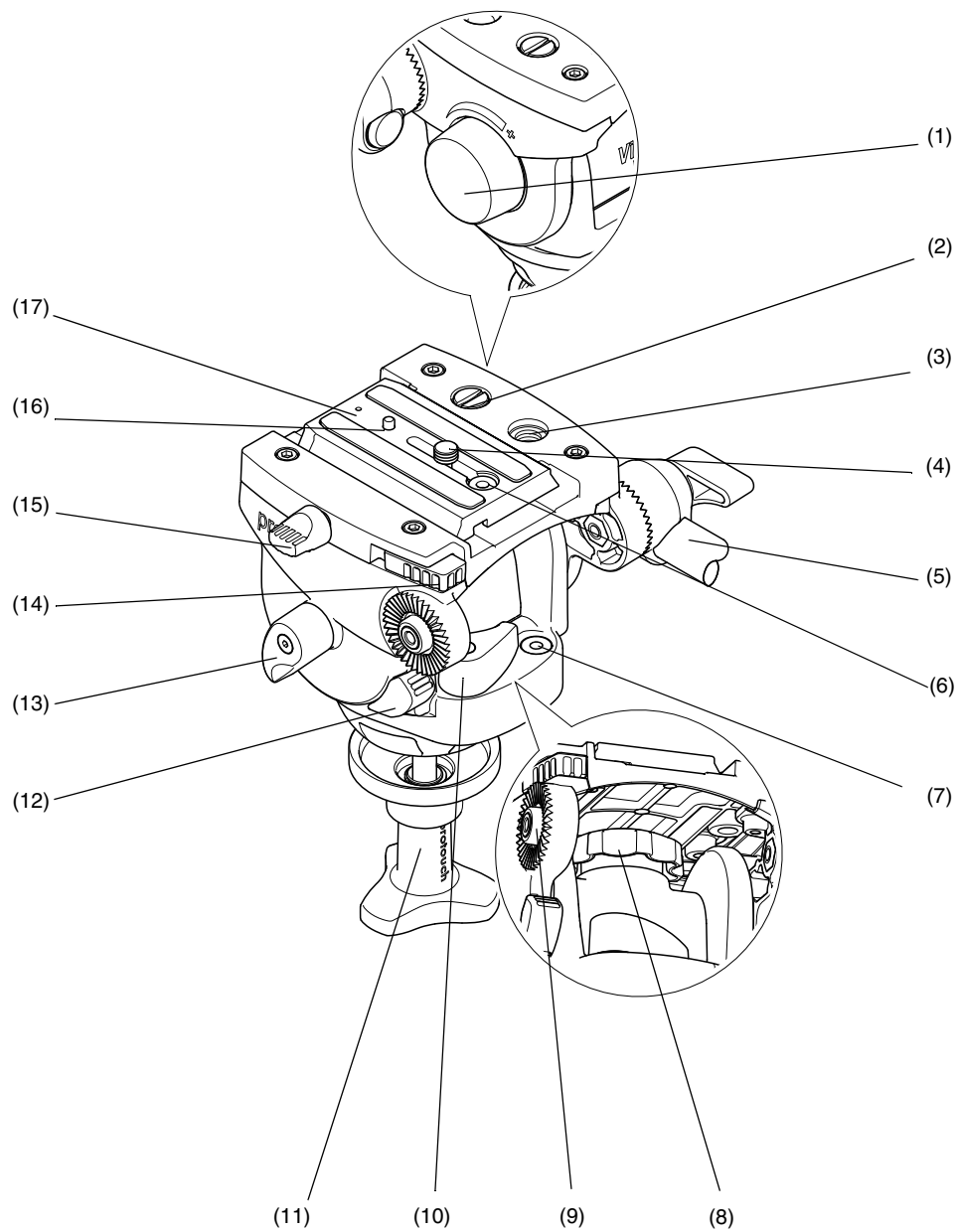


Fig. 1 PRO-5^{plus} パン・チルトヘッド



[Back](#)

-
- | | |
|------|------------------|
| (1) | チルトドラッグコントロール |
| (2) | 1/4 インチカメラねじ |
| (3) | 3/8 インチカメラねじ容器 |
| (4) | 3/8 インチカメラねじ |
| (5) | パンバー |
| (6) | カメラスライドプレート用栓 |
| (7) | 水準器 |
| (8) | パンドラッグコントロール |
| (9) | パンバーマウント |
| (10) | パンブレーキ |
| (11) | ボウルクランプ |
| (12) | バランスセクタ |
| (13) | チルトブレーキ |
| (14) | カメラスライドプレート用リリース |
| (15) | カメラスライドプレート用クランプ |
| (16) | 位置決めピン |
| (17) | カメラスライドプレート |



Back

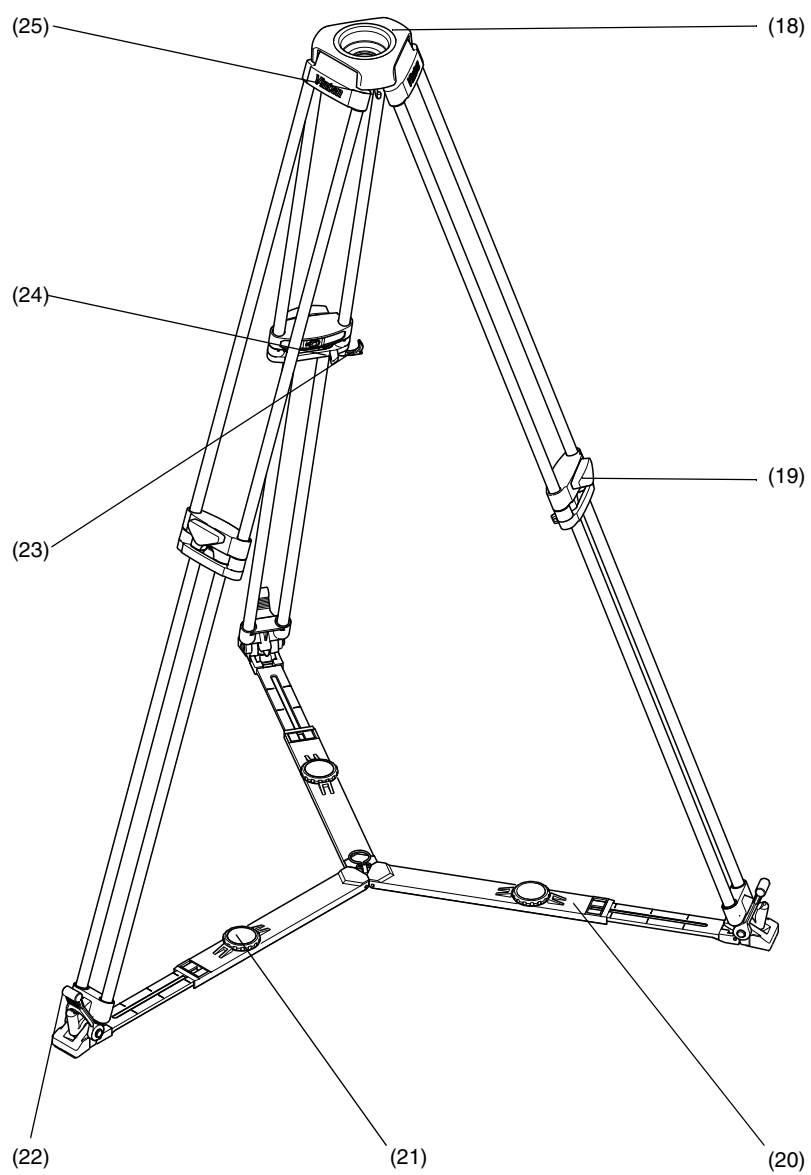


Fig. 2 Pozi-Loc 三脚とフロアスプレッダ



[Back](#)

- (18) 三脚ボウル
- (19) クランプノブ
- (20) フロアスプレッダ
- (21) フロアスプレッダアジャスタ
- (22) 足部固定用ストラップ
- (23) 脚固定用ストラップ
- (24) ミッドレベルスプレッダ用取り付けポイント
- (25) 固定フック



Back

はじめに

ヴィンテン社の protouch PRO-5^{plus} システムは、PRO-5^{plus} パン・チルトヘッド、Pozi-Loc 1 段三脚、フロアスプレッド、ソフトケースで構成されています。

PRO-5^{plus} パン・チルトヘッド

PRO-5^{plus} パン・チルトヘッド (Fig. 1) は、最大重量が 4.5 kg (9.9 ポンド) までの最新のプロ向けデジタルビデオカメラを支持できるように設計されています。このヘッドには、パンおよびチルトモーションの流体抗力アセンブリが組み込まれており、各軸にはブレーキが備えられヘッドを必要な位置で固定できます。また、ヘッド後部に水準器が取り付けられ、カメラのマウント用にサイドローディングのクイックリリース式のスライドプレートが搭載されています。固定パンバーが 1 つ用意されています。

バランス

PRO-5^{plus} パン・チルトヘッドの 2 段バランスシステムは、重心位置 (C of G) 55 mm (2.2 インチ) で最高 4.5 kg (9.9 ポンド) までの搭載荷重に対応して設定されており、設定を解除してチルト軸を自由に回転にすることも可能です。グラフ (Fig. 4) に、最適な性能を得るための重心位置と搭載荷重の関係を示しています。

パンとチルトのドラッグ

パン/チルト両方のメカニズムにこれらの軸を中心としたカメラ動きを滑らかにするための流体ドラッグアセンブリが搭載され、ドラッグ設定を調整するための (1)、(8) 制御ノブが備わっています。

パンブレーキとチルトブレーキ

各軸上にあるブレーキ (10) と (13) により、ヘッドを必要な位置で固定することができます。

水準器

ヘッドを水平に保つための照明付き水準器 (7) がヘッド後部に取り付けられています。

カメラのマウント

カメラはスライドプレート (17) でヘッドに取り付けます。スライドプレートには、ばね位置決めピン (16)、1/4 インチねじ (2)、3/8 インチねじ (4) が付属しています。ねじは、使用しないときはマウントプラットフォーム (3) に収容できます。スライドプレート (17) は上部からサイドローディングクランプメカニズムに取り付け、クランプ (15) を使用して正しい位置に保持します。リリースボタン (14) で、スライドプレート (17) をヘッドから取り外すことができます。



Back

パンバー

パンバーの取り付け箇所 (9) はヘッドの後部、カメラマウントプラットフォームのどちらの側にもあります。パンバー (5) はパンバークランプを使用して取り付け、雲台にあるのこぎり歯状の部分で角度調節ができます。付属の固定パンバー (5) は1つですが、もう1つ取り付けることも可能です。

Pozi-Loc 三脚

Pozi-Loc (Fig. 2) 式1段三脚には、アルミニウム製の脚と75 mmのレベリングボウル (18) があります。レベリングボウルには高性能のPozi-Loc レッグクランプ (19) が取り付けられているため、セットアップと調節が簡単です。

三脚スプレッダ

三脚には剛性を高めるためのフロアスプレッダ (Fig. 2) が付属しています。このフロアスプレッダは柔軟性に優れているため起伏のある地面の影響を軽減し、床やカーペットを保護して、地面が柔らかい場合でも三脚の脚がめり込むのを防ぎます。フロアスプレッダは常に使用してください。

スプレッダの各アームは長さ (21) の調整が可能で、三脚の足部はゴム製のストラップ (22) を使用して固定します。スプレッダを最大限に延長してすべての脚を完全に収縮させると、三脚を最も低い位置（高さ）で操作することができます。



警告！

スプレッダを使用せずに三脚を低い位置に設定すると、三脚が不安定になります。

注：スプレッダを外してドリーを取り付けることも可能です。



操作

組み立て

組み立てが済んでいない場合には、以下のとおりシステムを組み立てます。

三脚とフロアスプレッダ

フロアスプレッダを取り付けるには (Fig. 2) :

上部クランプのすぐ下にある指穴を使用して、三脚を箱から持ち上げて取り出します。

脚固定用ストラップ (23) を緩めて脚を広げます。

ゴム製ストラップ (22) を使用して、スプレッダを三脚の足部に固定します

注：組み立てが終わっても、スプレッダは三脚に取り付けたままにしてください。

三脚を調節するには：

操作高さを調節するには、レッグクランプ (19) を取り外し、三脚を適切な高さに設定します。必要に応じてスプレッダ (21) を調節します。

クランプ (19) をカチッと音がするまで締め、ノブを水平の固定位置にします。

うまく固定されない場合には、固定フック (25) を使用して三脚を固定するか、ウェイトを固定フックにぶら下げてください。



警告！

1. フロアスプレッダは常に最大限の幅に設定して安定性を確保します。三脚を最大限に延長してフロアスプレッダを閉じた状態にすると、不安定になるので注意してください。
2. パンバーハンドルには物をぶら下げないようにしてください。(5)。三脚の安定性が大きく損なわれます。
3. 特に階段など、平坦でない場所に三脚を設定する場合は、不安定になりやすいため注意が必要です。階段などでは、中レベルのスプレッダの使用をお勧めします(「オプションのアクセサリ」(23 ページ)を参照)。
4. プラットフォームやガントリーなどカメラマンより高い場所に設置する場合は、固定フック (25) を使用して三脚を固定します。



パン・チルトヘッド

PRO-5^{plus} (Fig. 1) パン・チルトヘッドには 75 mm のボールマウントが用意されています。ヘッドを三脚または他のマウントで取り付け台に取り付け可能なアダプタを使用することができます。これらのアダプタについては「オプションのアクセサリ」に記載されています。

ヘッドを取り付けるには、ボウルクランプアセンブリ (11) をヘッドから取り外し、三脚の上に配置してからボウルクランプアセンブリを下から取り付け直します。水準器 (7) を使用してヘッドを水平にし、ボウルクランプ (11) を締めます。

カメラのマウント

スライドプレートのクランプ (15) を緩め、スライドロックリリース (14) を押します。スライドプレートを持ち上げ、スライドプレート (17) を取り外します。

適切なカメラ固定ねじ (2) または (4) をスライドプレートに取り付けて、ゴム栓 (6) を保持します。使用しないねじはプラットフォームの容器 (3) に保管します。

固定ねじ (2) または (4) と位置決めピン (16) (必要な場合) で、スライドプレート (17) をカメラまたはカメラマウントプレートの重心に取り付けます。

プラットフォームの高さを設定し、パンブレーキ (10) とチルトブレーキ (13) の両方をかけます。

カメラをプラットフォーム (Fig. 3) まで下げ、スライドクランプの反対側にあるスライドプレートの端がかみ合うようにしてから、押し下げてスライドクランプを正しい位置に音がするまではめます。

スライドプレートのクランプ (15) を締めます。

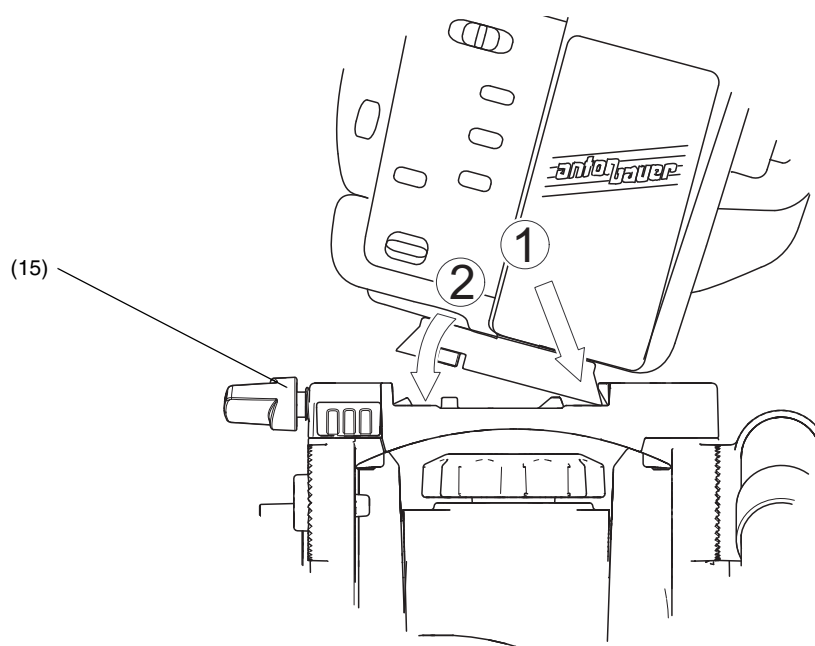


Fig. 3



Back

カメラバランスの点検

PRO-5^{plus} ヘッドのバランスシステムはオンオフを切り替えることができ、重心位置 55 mm (2.2 インチ) のとき搭載荷重 4.5kg (9.9 ポンド) に設定されています。グラフ (Fig. 4) に、最適な性能を得るための重心高さ と 搭載荷重 の関係を示しています。

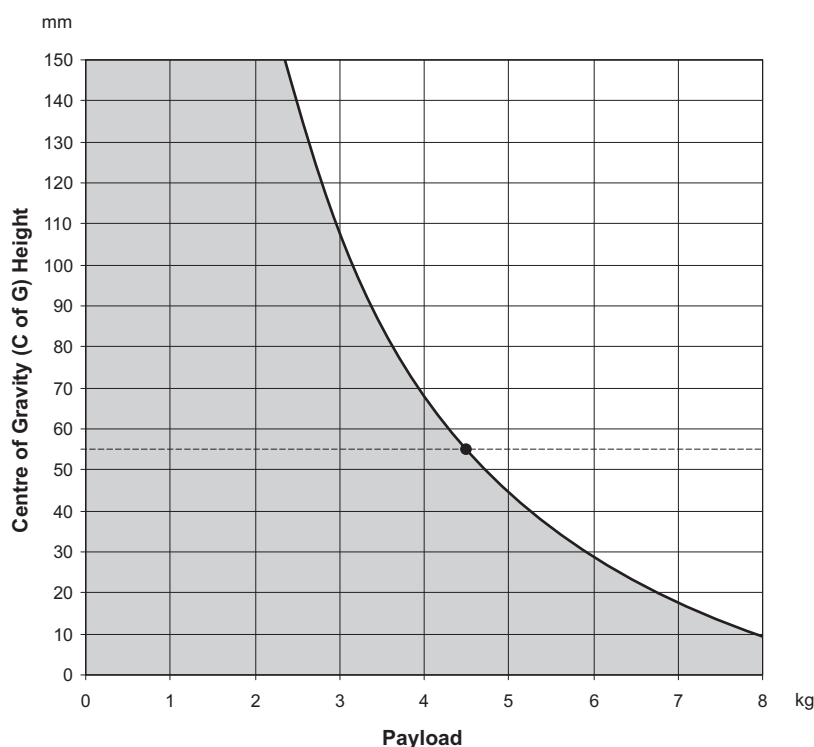


Fig. 4

バランスセレクトタ (12) を使用すると、2つのバランスレベルを利用できます。セレクトタ (12) を下方 (Fig. 5) に押し下げると、カウンターバランスシステムなしでチルト軸を自由に回転できます。セレクトタ (12) を上方 (Fig. 5) に持ち上げると、バランス調整機能は最大になります。(Fig. 4)



警告！

1. ヘッドまたは三脚の最大容量を超過しないように注意してください。不安定になり、故障する恐れがあります。
2. カウンターバランスシステムを取り外す際は、落下しないように必ずカメラを支えて行います。
3. 指を挟まないよう、動作中のプラットフォームには手を近づけないでください。



Back

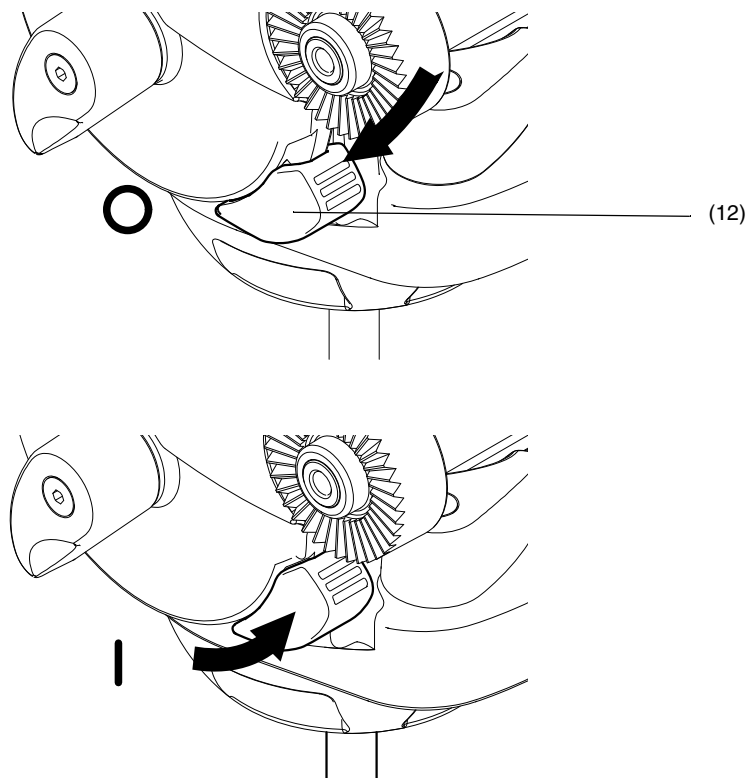


Fig. 5

カメラバランスは、パンバー (5) やすべての補助機器を適切に取り付けた状態で以下のとおり点検してください。

チルトドラッグ (1) を最低レベルに下げます。

注：設定を変更すると、プラットフォームが水平に移動するとき選択したバランスレベル (12) になります。



警告！

パンバーを使用してカメラを安定させます。ヘッドが落下しないように防止してください。指を挟まないよう、動作中のプラットフォームには手を近づけないでください。

チルトブレーキ (13) を解除します。

パンバー (5) を使用してヘッドを前後にチルトさせ、カメラ位置のバランスが両方向で均等になるように調整します。プラットフォームの高さを設定し、チルトブレーキ (13) をかけます。スライドプレートのカランプ (15) を緩め、水平方向にバランスが取れるまで前後にカメラをスライドさせて正しくヘッドに配置します。スライドプレートのカランプ (15) を締めます。再度確認し、必要に応じて調節してください。



Back

パンバー (5) を使用して、ヘッドを前後にチルトさせます。ヘッドがはね返る傾向がある場合は、バランスシステム (12) を解除して十分にチルトドラッグ (1) してカメラチルトを適切にコントロールします。ヘッドが落下しやすい場合は、搭載荷重がヘッドの容量 (Fig. 4) を超えています。可能であれば、すべての補助機器の重心位置を下げるか、またはすべて取り外してください。



警告！

バランス調整が完了したら、スライドプレートのクランプ (15) を固く締めてカメラが落下しないようにします

パンブレーキとチルトブレーキ

各軸上にあるブレーキにより、ヘッドを適切な位置で固定することができます。パンブレーキ (10) の操作レバーはヘッド後部にあります。チルトブレーキ (13) は、ヘッド左側にあるレバーで操作します。

パンブレーキをかけるには、レバー (10) を時計回りに回します。ブレーキを解除するには、レバーを反時計回りに回します。

チルトブレーキをかけるには、レバー (13) を時計回りに回します。ブレーキを解除するには、レバーを反時計回りに回します。

警告！ ドラッグにブレーキを使用しないでください。ヘッドが破損する恐れがあります。ブレーキを使用していないときは、常に完全に解除した状態にしてください。

パンとチルトのドラッグ

パンとチルトのメカニズムにはいずれも流体抗力システムが組み込まれており、カメラが軸の周囲をなめらかに移動できるようになっています。

チルトドラッグ調節ノブ (1) はヘッドの左側、パンドラッグノブ (8) はプラットフォーム下の本体上部にあります。

ドラッグを締めるには、ノブを時計回りに回します。ドラッグを緩めるには、ノブを反時計回りに回します。

警告！ ヘッドを長期間使用しない場合は、ドラッグ部品の摩耗を最小限に抑えるためにドラッグを緩めておいてください。



オプション機器

キャリングストラップ

オプションアクセサリのキャリングストラップ (26) を使用できます。取り付け方は以下のとおりです (Fig. 6)。

ストラップのある脚の下側の取り付け部で、適切な工具を使用して「ノックアウト」(23.1) を動かします。可能であれば、取り付け部内の隙間を無くし、がたつきが起こらないようにします。

ブラインド圧入ナット (26.4) を下部取り付け部の穴に押し込みます。

適切な M5 ねじを使用して、ブラインド圧入ナットを完全に締め込みます。その後、M5 ねじを取り外します。

ワッシャ (26.3) を下部ストラップアンカー (26.2) に取り付けて、圧力ナット (26.4) に締め込みます。ストラップアンカーの穴がカラビナ (26.1) を取り付けられる向きになっていることを確認します。

三脚ボウル (18) の下部の、対応するレッグクランプ (18.2) を固定しているねじ (26.5) を取り外して廃棄します。ワッシャ (18.1) は外さないでください。

向きに注意して、ボウルストラップアンカー (26.6) をレッグクランプに取り付けます。Loctite 221 を使用して、ボウルストラップアンカー (26.6) をストラップに付属の 25 mm M6 ねじ (26.5) で固定します。4.5 Nm (40 lbf in.) のトルクでねじを締めます。

カラビナ (26.1) で、ストラップ (26) をストラップアンカーに取り付け、長さを調節します。

ドリー

PRO-5^{plus} システムは、さまざまな OB およびスタジオドリーにマウント可能です。これらのドリーは 23 ページの「オプションのアクセサリ」に記載されています。



Back

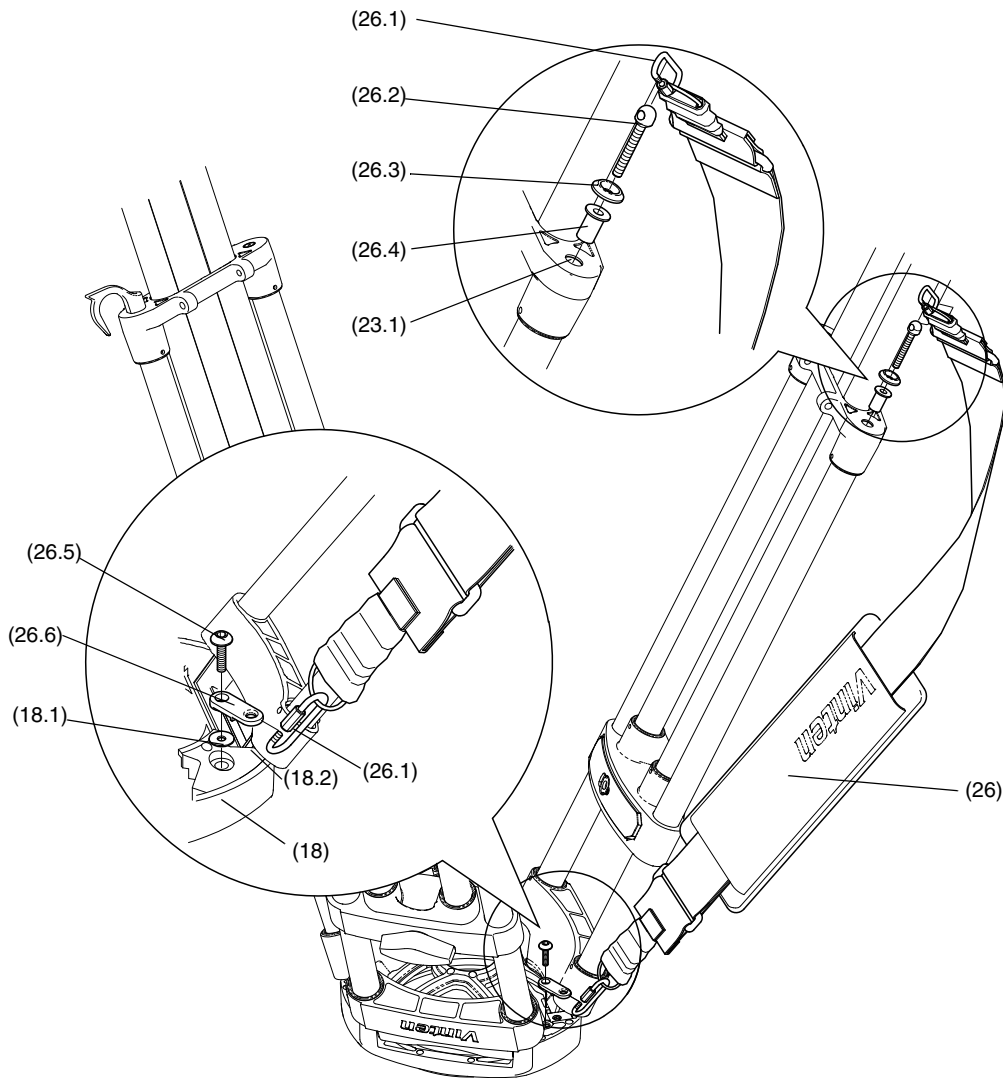


Fig. 6



Back

メンテナンス

概要

Protouch 製品は高度なエンジニアリングで堅牢に製造されているので、機能を維持するため定期的なクリーニング以外にはほとんどメンテナンスを必要としません。以下の点に留意すれば、故障を最小限にして寿命を長くすることができます。

クリーニング

室内で使用している場合には、クリーニングはけばのない布で定期的に拭くだけで十分です。保管中にたまったほこりは、硬めのブラシを使用して取り除いてください。ヘッドのボールマウント面、チルトアセンブリと台座の間の空間、三脚のマウントボウル部は特に丁寧にクリーニングしてください。

悪条件下での屋外の使用は、特に注意が必要です。潮風を浴びた場合は、清潔な水で極力早めに洗い流してください。砂やほこりは傷の原因となるので、硬めのブラシまたは掃除機で取り除いてください。

警告！ たまった汚れを落とす際に、溶剤や油を主成分とするクリーナー、研磨剤、ワイヤブラシを使用しないでください。保護面を損傷するおそれがあります。
洗剤を主成分とするクリーナーのみを使用してください。

日常の保守

使用中に以下のことを点検してください。

パンブレーキとチルトブレーキ性能を点検します。必要に応じて設定し直してください。

三脚のレッグクランプの性能を点検します。必要に応じて設定し直してください。

スプレッド上のゴム製の足部固定ストラップの経年変化と割れを点検し、必要に応じて交換してください。

それ以上の定期的な保守は必要ありません。



調整

パンブレーキノブの調節

パンブレーキノブ (10) はあまり動かさない部分であるため、長期間使用した場合は調節が必要になる場合があります。

パンブレーキノブを調節するには (Fig. 7) :

固定ねじ (10.1) を外し、シャフト (10.2) からノブ (10) を抜き取ります。

シャフト (10.2) を時計回りに回してパンブレーキをいっぱいにかけます。

ノブ (10) をシャフト (10.2) に、ヘッド本体に対してわずかに直角以上になるように (時計回り) 取り付けます。

ノブを反時計回りにいっぱいまで回し、ブレーキが解除されることを確認します。ノブを時計回りに回し、ノブが移動範囲の終わりに達する前にブレーキがかかることを確認します。

必要に応じて再調節し、ノブをねじ (10.1) で固定します。

チルトブレーキノブの調節

チルトノブ (13) も、長期間使用した場合は調整の必要が生じることがあります。

チルトブレーキノブを調節するには (Fig. 7) :

固定ねじ (13.1) を外し、シャフト (13.2) からノブ (13) を抜き取ります。

シャフト (13.2) を時計回りに回してパンブレーキをいっぱいにかけます。

ノブ (13) をシャフト (13.2) に、レバーがほぼ3時方向、ヘッド後部を指すように取り付けます。

ノブを反時計回りに半分回し、ブレーキが解除されることを確認します。ノブを時計回りに回し、ノブが最終位置に来る前、つまり他のヘッド操作を妨げる前に適切な位置でブレーキがかかることを確認します。

必要に応じて再調節し、ノブをねじ (13.1) で固定します。

Pozi-Loc 三脚レッグクランプの調節

「Pozi-Loc」レッグクランプでベディングインが発生すると、クランプの再設定が必要になる場合があります。各レッグクランプの効きを検査して、以下のとおり調節します (Fig. 8)。

クランプノブ (19) を垂直の「オフ」位置まで回します。

その後、ねじ (19.1) を取り外します。適切なペグスパナを使用して、脚が自重で自由に移動できるようになるまで、ねじ山付きインサート (19.2) スロットを後退させます。

脚を出し入れしながら、クランプがしっかり効き始めるまでねじ山付きインサート (19.2) を徐々に締め付けます。

ねじ穴が揃わない場合は、スロットがねじ (19.1) の穴と揃うまで、ねじ山付きインサート (19.2) を後退させます。

ねじ山付きインサート (19.2) を3つのスロットについてさらに後退させます。

ねじ (19.1) を取り付け、ねじ山付きインサート (19.2) を固定します。



Back

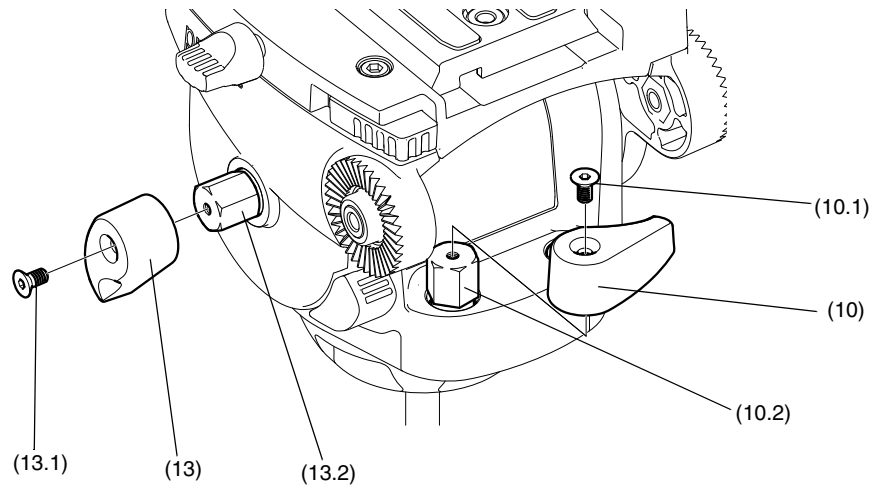


Fig. 7

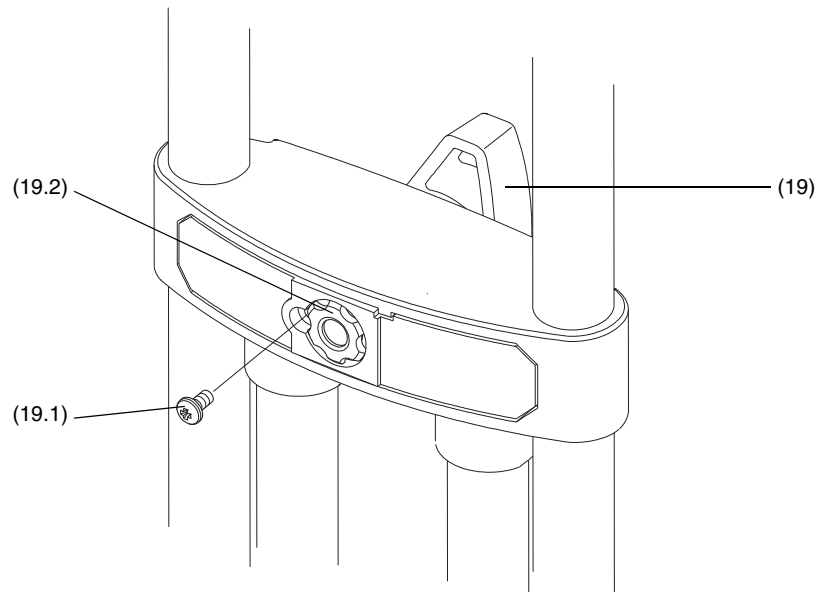


Fig. 8



Back

パーツリスト

以下のリストには、メインアセンブリ、ユーザーが交換可能なスペアパーツ、およびオプションのアクセサリが記載されています。修理またはスペアパーツの詳細については、ヴィンテンまたはお近くのヴィンテン代理店にお問い合わせください。

オンラインの情報については弊社の Web サイトをご参照ください。

www.vinten.com

メインアセンブリ

Pro-5plus システム

以下のものから構成されています：

PRO-5^{plus} パン・チルトヘッド、ENG Pozi-Loc 1 段三脚、フロアスプレッダ PR05 AP1 F

キャリングケース

protouch システム用ソフトケース U005-190

ユーザーが交換可能なスペアパーツ

パンバー U005-620

オプションのアクセサリ

キャリングストラップ

キャリングストラップ 3425-3P

ミッドレベルスプレッダ V4032-0001

3 つの足部セット（ミッドレベルスプレッダで使用） 3378-902SP

ドリー

PD114 ドリー U005-103

ENG (OB) ドリー 3319-3B

ENG (スタジオ) ドリー 3319-3C

ENG (OB) ドリー - 小 3319-3ST

三脚と台座アダプタ

75 mm ボール～ 100 mm ボウルアダプタ U005-159



Back

保証の詳細および契約の条件

以下の保証の詳細および契約の条件をお読みください。
お買い上げの製品をご登録頂き、1年間の延長保証サービス、ならびに Vinten からの価値ある
贈り物を
お受け取りください。

www.vinten.com/register ですぐにユーザー登録を行ってください。登録は簡単で迅速です。

本製品の製造番号の位置 (27) は、Fig. 9 に表示しています。

保証

Vinten は、当初購入者に対してのみ、ご購入日より (1) 年間、通常の正しい用法のもとで本製品に材料もしくは仕上げ上の瑕疵が起こらないことを保証致します。本保証のもとでの Vinten の義務は、Vinten の裁量で材料もしくは仕上げにおいて Vinten が瑕疵があると判断した製品または部品の交換または修理に限定されます。本 Vinten の部品および労務の保証は、以下に規定する諸条件に準拠するものとします。

延長保証

オンラインでのご登録により、上述の Vinten ハードウェア製品に関する保証が以下の諸条件に準拠してご購入日より (1) 年から (2) 年に延長されます。

諸条件

保証請求の通知

すべての保証請求は書面で行いご購入日および購入証明物を添付すること。

責任限度

本保証は商品の当初購入者のみに与えられ、Vinten の書面による事前の同意を得た場合を除いて付与されてはならない。

これらの諸条件に従って、製品の瑕疵部品が Vinten またはその委任代理人に運賃元払いで返品されたという条件のもとに Vinten はいかなる製品または瑕疵部品の修理または交換も無償で行います。

瑕疵のある製品が廃止され修理ができない場合、同様の品質および同等の機能を持つ現行機種との交換を行います。

免責

本保証は次のものによるいかなる損傷、瑕疵または費用も対象としていません：(1) Vinten またはその正規の販売代理人以外による製品の改造、変更、修理または点検 (2) 製品の物理的な酷使、過積載または誤用、あるいは製品に添付された取扱説明に反する方法で製品を操作すること (3) 所期の目的以外の用途での製品の使用または (4) 点検目的での製品の Vinten への発送。

いかなる状況下においても、VINTEN は、人身傷害、物的損害、機器の損傷または紛失、逸失した利益または収入、代用品の賃借費用、ならびに他の追加経費) を含み、かつそれに限定されない実害、偶発的または間接の損害賠償に対して、たとえ VINTEN がそのような損害賠償の可能性について知らされていた場合であったとしても、何らの責任も負わないものとします。偶発的または間接の損害賠償の免責または制限を許容しない管轄区域においては、上記制限及び免責が適用されません。



Back

ここに規定しない明示的保証、ならびに、ここに含まれている保証を除き、法律の含意または適用によって生じる可能性のあるいかなる補償は、商用および特定の目的に適合する暗黙の保証を含め、ここでは除外および放棄されています。暗黙の保証に関する制限を許容しない管轄区域においては、上記の制限が適用されない場合があります。

本保証によりお客様は特定の法的権利を付与されますが、管轄区域によって異なるその他の権利を持つ場合もあります。

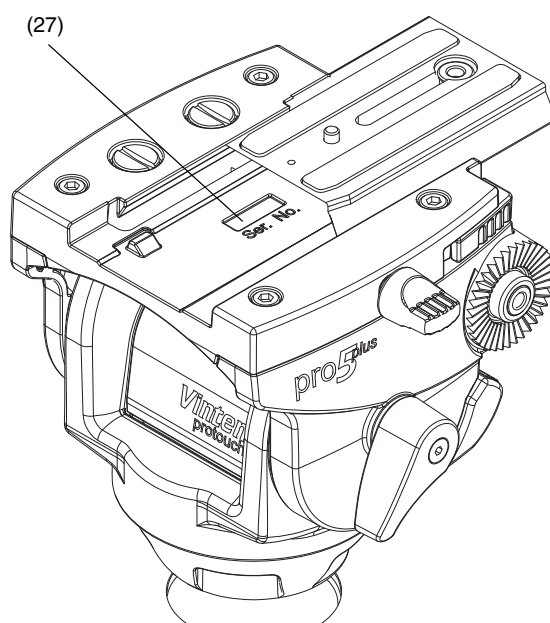


Fig. 9



Back

Vinten

CHINA

The Vitec Group plc China
Room 706, Tower B
Derun Building
YongAn DongLi No. 8
Jianwai Ave
Chaoyang District
Beijing, China 100022
Tel: +86 10 8528 8748
Fax: +86 10 8528 8749

FRANCE

Camera Dynamics sarl
171, Avenue des Grésillons
92635 GENNEVILLIERS Cedex
France
Tel: +33 820 821 336
Fax: +33 825 826 181

GERMANY

Camera Dynamics GmbH
Gebäude 16
Planiger Straße 34
55543 Bad Kreuznach
Germany
Tel: +49 671 / 483 43 30
Fax: +49 671 / 483 43 50

Camera Dynamics GmbH
Erfurter Straße 16
85385 Eching
Germany
Tel: +49 89 / 321 58 200
Fax: +49 89 / 321 58 227

Information contained in this document is subject to change.

Vinten reserves the right, without notice, to make changes in equipment design or performance as progress in engineering, manufacturing or technology may warrant.

Publication Part No. V4057-4980-JP

JAPAN

Vinten Japan KK
P.A. Bldg. 5F
3-12-6 Aobadai
Meguro-ku Tokyo 153-0042
Japan
Tel: +81 3 5456 4155
Fax: +81 3 5456 4156

SINGAPORE

Camera Dynamics Pte Ltd
6 New Industrial Road
#02-02 Hoe Huat Industrial Building
Singapore 536199
Tel: +65 6297 5776
Fax: +65 6297 5778

UK

Camera Dynamics Ltd
William Vinten Building
Western Way
Bury St. Edmunds
Suffolk IP33 3TB
England
Tel: +44 1284 752 121
Fax: +44 1284 750 560
Sales Fax: +44 1284 757 929

USA

Camera Dynamics Inc.
709 Executive Blvd
Valley Cottage
NY 10989
USA
Tel: +1 845 268 0100
Fax: +1 845 268 0113
Toll Free Sales: +1 888 2 Vinten

Vinten Website www.vinten.com